

863
114

久岐良廼跡
全



国立国会図書館 タイトル『久岐良廼跡』 請求記号 863-114

ガラス使用

適きしや例法乃正風り一履言哉
つらねしや世の及履り詠難の
海山よも佳うしと種倍者同よそ氣
とくも障ゆく弱乃阿りまをやく
去歸るまの心憂されやぬ心地とく
いと仮初めし事一まらも喜む乃
またく心と海山のらりのちよ
卯の急嘆るふ妙も喪服をまら

はしあやの心一く説よ十あまの九日志
月も更申くころをひほくまぶしの
一向ふ未起乃おまひ城跡一と終め
さるぬ怨一この那あまき人擲一の
かつけきをたれよ孫乃あされのに
せまふ心らりあま夢よゆ久く難ふ
似ありせ免るものいらやまり
一年あまく手向舞と虎草を



驚くおと事さるに

片袖をよめ

まれいゝのちり

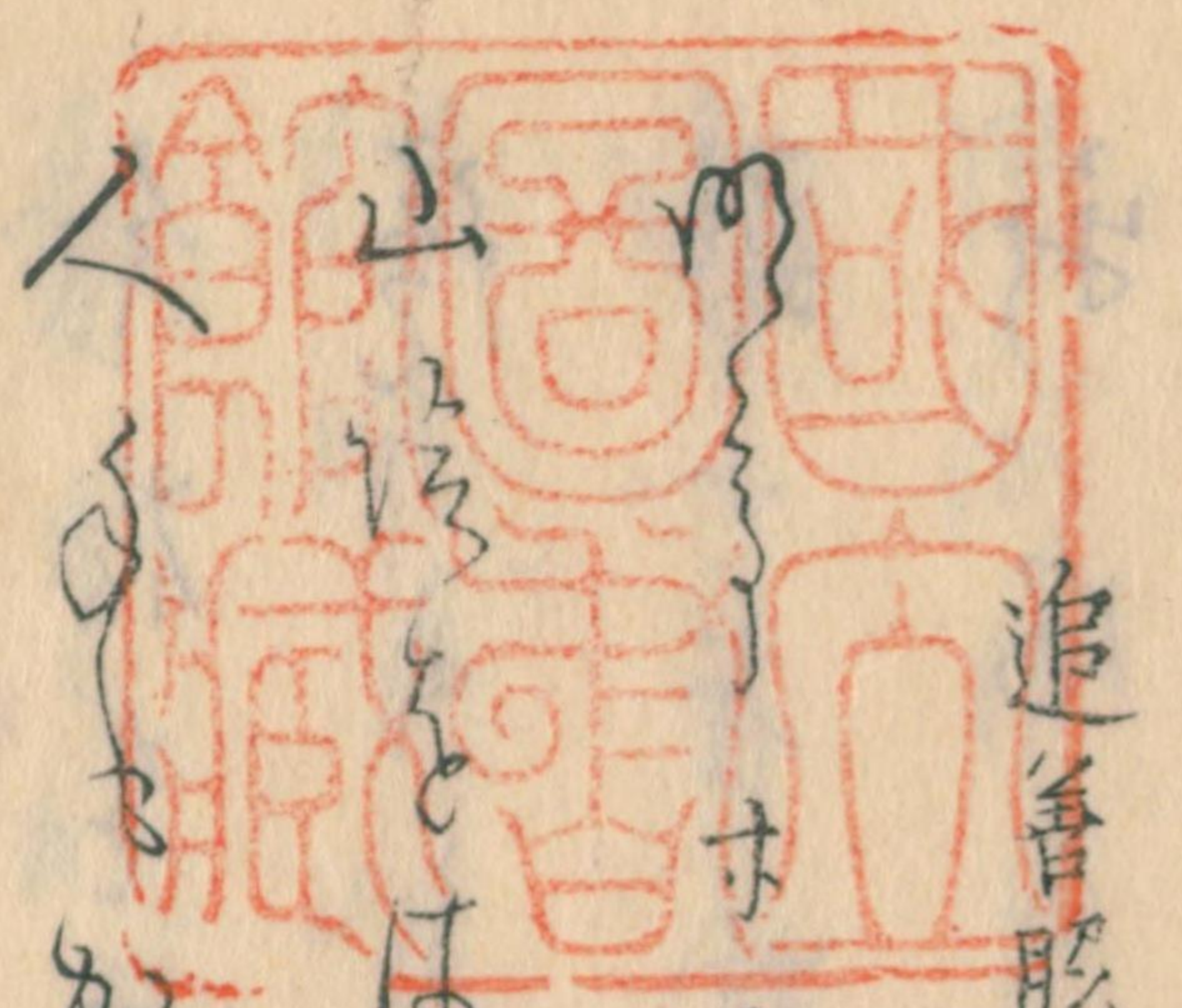
浦賀 陶字有柳



辞世

ほろろしんご十五年の軍おきぬ石叟居士

追善服起之俳諧



有柳

雉啄

遊

石年

柯江

鳥周

目春きむらさきの豆
ゆきや幸おほくは海敷たて
秋もさしつづきのあ建せん
るさしを厚のあさく一月のあ
お川ふさぬまきあのお
お敷垣の施業のれを魚粉まき
七つうさし水とわさせぬ川
掃きくさろく山をさる海屑
ゆきし油の白よ板の間
阿心岳庫有路阿岳南

きりさし花あさき紙天樂蓮漏
さしあのみさしあさきの日批芽

遺吟 石叟居士

あさきさしあさきのあさきお掃さほれ
あさきおさしあさきあさきあさき
あさきあさきあさきあさきあさきあさき
あさきあさきあさきあさきあさきあさき



鹿の野に松は伐り置けり
杜の野に松は伐り置けり
川原に松は伐り置けり
山原に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり

大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり
大野に松は伐り置けり

不根
軒
川

春
夜
大
備
子
何
洞
破
委





浦賀のちゆ柳と七友の使の
のちゆ柳と七友の使の
のちゆ柳と七友の使の

富春菴

植つゝ柳とみとつれ 天路君

この傍もまじ月おやほもい 文哉

杜鵑かよゝおき川きよふ 一甲

おとしちるやちるおの都と 不曲

はつゝも牡丹るより法の庭 少鋒石

延翠堂

深古もるもあはれ日あつゝ 大方君

時きよちるやちるも根あつゝ 月指

序佛のちきよも星もふ牡丹 亦口

浦賀

いづつあつゝ海とあつゝいづつ 翠蘿

六つあつゝあつゝあつゝあつゝ 芳岳

今日あつゝあつゝあつゝあつゝ 秋様

そつあつゝあつゝあつゝあつゝ 乙居

日あつゝあつゝあつゝあつゝ 吳瓢

碧つあつゝあつゝあつゝあつゝ 文龜

多々のつらむらひとてつらむらひ
 世の垢を清く洗はせしめしめ
 赤の灯を燈ししめしめしめ
 うはむらむら軍ねの事おと子規
 郊のふやふやとてふやふや
 ふやふやとてふやふや
 秋あけ付おきとてふやふや
 おきとてふやふやふやふや
 豆下田
 壽 阿 柳 折 周 南 情 牙 激 所 季 流 石 年

世の唐やあてはししめしめ
 多々のつらむらひとてつらむらひ
 花もろきけけの咲いとてふやふや
 牡丹より一日とてふやふや
 手あまの佛よとてふやふや
 こゝろふやふやとてふやふや
 江戸
 房磯村
 鳥 周
 吉 哉 杜 康 か とも 行 場 一 誠 け ち 志

雑歌

おのゝあき

芳葉のきよもむかおるきり

田喜庵

護

藤よもをかまらるる

時中庵

春

あまなほのきよき日

鳴立庵

雛

いそぎのきよき子規

八景園

寧

物 路 咏 松

かしの月さへもを管のく

廿

下 心

おしなほのきよき

廿

花 兄

きよ山のこひ月曇る

泉 舎

扇スるおんかゝり人の儚

論 栞

こゝに接するの恩を
おれつくすべし
志はしむる

いづれもきんおのふく
正 遊

寶所石年

即今忌景會同盟
抖擻枯腸話舊
情遺墨悄然子規
句斷絃琴上動
哀聲

矢埜梅洞

居諸倏忽感流年
聊把蘋蘩陳豆
籩發句場中君去後
不知風月在
誰邊

山上重威

存亡三四載
夢絕似無尋
空在杜鵑
句一吟
淚滿襟

月の夕花の且丹

あきあき〜〜〜名のまかり〜

けしきあきあきのしほき

けしきあきあきのしほき

日下坊

印文庫
消印

863
114

中村
藏書

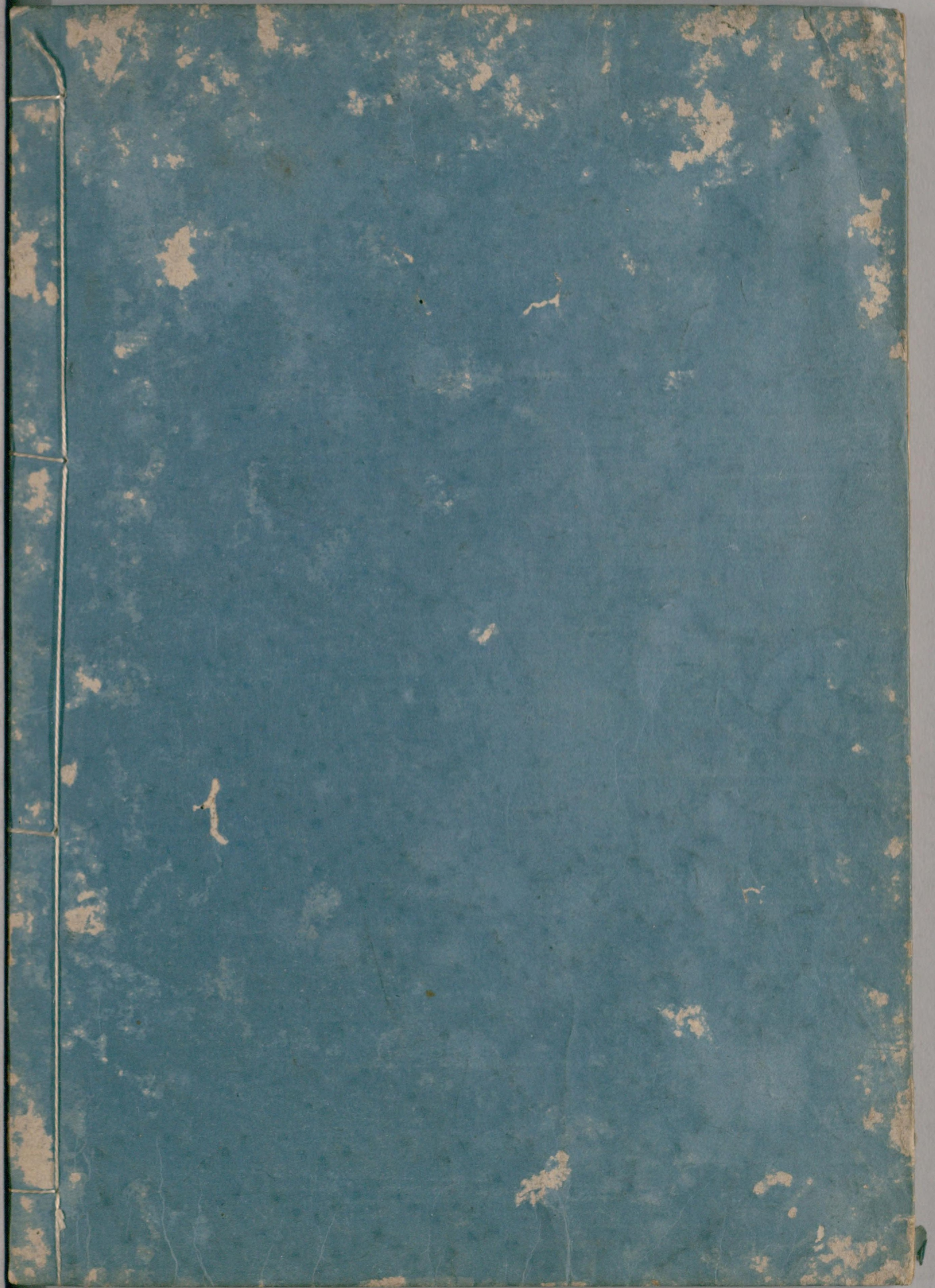
14217

國體

中村廣事院

文部省
宣統二年
庚寅
初夏

Handwritten cursive text in Japanese, likely a calligraphic inscription or signature, written vertically from right to left.



国立国会図書館 タイトル『久岐良廼跡』 請求記号 863-114

ガラス使用